



## 山口精機株式会社

### 数十年先の未来見据える 環境負荷の低減に向けた 新たな技術開発に取り組み



富岡市

住 所 富岡市富岡779  
T E L 0274-63-5525  
M a i l y-seisan@yamaguchi-seiki.co.jp  
U R L https://yamaguchi-seiki.co.jp/  
代表者 山口 和之  
設 立 1961年3月9日  
資本金 5,000万円  
従業員 93人

WEBサイト



#### 企業紹介

1950年の創業以来、当社は自動車部品の加工から始まり、今では航空機のエンジンカバー部品やタービンの燃焼器、および産機・建機など多岐にわたる分野の製品加工を行っています。日本の産業であるモノづくりを大切に考え、現在流通している部品だけではなく、数年、数十年先に実現するであろう未来の技術に関するモノづくりも行っています。

また、富岡製糸場に展示されているブリュナエンジン復元を行った際に、当社も部品加工会社としてプロジェクトへ参画しました。

#### 経緯・背景

創業時より「良い製品」を「より早く」「より安く」を指針とし営業していますが、十数年前前に「環境負荷低減に繋がる取組」も加えました。

「まずは自社でできるところからチャレンジ!」を実践し、環境への負荷低減に繋がる活動をコツコツと続けてきました。近年、取引先のお客様から「環境負荷低減を考えた製品づくりをしたい」との声も増えていきますので、地球全体の環境問題を考えた部品の加工により協力していきたいと考えています。

### 電力効率の良い加工機導入 時間短縮で定時退社も実現 次世代に知識受け継ぐ

#### 具体的な取組・成果

●最新加工機の導入による電力削減・働き方の改革  
金属切削加工に欠かせない加工機ですが、2021年に続き2022年も新しい加工機を15機以上導入しました。新しい機械はモーターの電力効率が良くなっているため、省エネにつながる利点があります。また、従来の加工機ではできなかった加工スピードの細かな調節など、多くのカスタマイズが可能となりました。70年以上継承されている知識と経験を生かし、従来製品の加工時間短縮へと繋げることも達成しました。使用電力の削減だけではなく、働き方の改革として「仕事にメリハリをつけて働きましょう」にも取り組んでいます。時間短縮による結果、定時に退社する人も増えています。



導入した新しい加工機

●SDGsを全社員で取り組むために  
SDGsと聞いても「言葉だけは知っている」といった従業員もいました。取り組むのであれば全社員が同じ認識で取り組むことができれば、最良の結果に繋がれると考えています。

弊社では少しでも身近に感じてもらうため、SDGsバッジの配布の他、毎年各々の目標を定めて活動をしています。会社としての取組とは別なので、例えば「買い物時にマイバッグを使う」「賞味期限の近い食品から購入する」など、普段の生活で既に実践している内容を含んだ無理のない目標を設定し活動をしています。また、会社内での目標も定め「節水する」「使えるものはリサイクルする」などこちらも無理のない範囲で設定しています。

1年後には自己評価も行っています。

#### ●教育制度の拡充

当社の得意とする「多品種少量に特化したモノづくり」ですが、これらの知識を共有し次の世代へと継承すべく定期的に教育の場を設けています。

最近加工時間短縮の取組もあるため、空いた時間で勉強会を開催しています。

勉強会は聴講のほか、自身のアイデアを出し合う時間も設けています。新たな知識を得ることでより斬新なアイデアの創出へと繋がり、自身のスキルアップや業務の改善へと繋げることができています。

新人・ベテラン関係なくコミュニケーションを取りながら気軽に参加できます。



定期的に関開く勉強会

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### ●カーボンニュートラルを目指す

地球・人々のためとなるモノづくりに積極的に取り組みます。自社としての加工業務も排出ゼロ（カーボンニュートラル）の実現を目指し、より地球に優しい環境でのモノづくりをしたいと目指しています。

##### ●まずは半分

カーボンニュートラルを目指しつつ、まずは排出量半分を目標に取り組んでいます。

一方的に取り組むのではなく、社員全体で工夫しながら目標実現に向けて日々コツコツと取り組んでいます。

より効率の良い車両の導入など様々な取組を予定しています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像